

第5回

平城遷都1300年

奈良・読書の旅

図書情報館では、2007年より、奈良にまつわる作品を

著者と語る「平城遷都1300年奈良・読書の旅」を

開催しています。

作家と読者をつなぎ、奈良を舞台にした作品を

より深く味わおうという企画です。

最終回、第5回は、作家の帚木蓬生（ははきぎ ほうせい）さんを迎え、

帚木さんの小説『国銅』をめぐるトークセッションです。



平成22年11月6日（土）
14:30~16:30（開場13:30）

- 講師：帚木蓬生（作家）
- 作品：『国銅』
- 定員：300名（先着順）・無料
- 会場：1階交流ホール

主催：奈良県立図書情報館、読売新聞大阪本社

● 会場：1階交流ホール



平城遷都1300年

奈良・読書の旅



ははき ぎ ほう せい
是崎 浩生さん

プロフィール

1947年福岡県生まれ。東京大文学部、九州大医学部を経て精神科医になり、現在も福岡県中間市で診療を続ける。79年の小説「白い夏の墓標」が直木賞候補に挙げられて注目を集め、93年「三たびの海峡」で吉川英治文学新人賞、95年「閉鎖病棟」で山本周五郎賞、97年「逃亡」で柴田錬三郎賞、2010年「水神」で新田次郎文学賞を受賞した。「エンブリオ」「インターセックス」などの医療小説、「薔薇窓」「聖灰の暗号」のサスペンスなど著書多数。ヒューマニズムに貫かれた骨太の作品を書き続けている。

●「国銅」あらすじ・・・8世紀、長門周防の奈良登り銅山では、奈良の都に献上する銅を作るため大勢の人足が苦しい仕事に耐えていた。都で大仏を建立する詔が出され、22歳の人足の国人は、14人の仲間と共に大仏鑄造の労役を命じられる。奈良までの長い旅路の間に命を失うもの、造営作業中の事故で亡くなるもの、人足小屋から逃亡するもの……。果てしなく続く作業に取り組む国人を支えたのは、故郷の僧侶に教えられた漢詩と薬草の知識だった。やがて大仏はその巨大な全容を現してゆく。03年に刊行された著者初の歴史小説。

◆ お申込み方法 ◆

当館ホームページ申込みフォーム、往復はがき、FAX、メールにてご来館によるお申込み

● 往復はがき、FAX、メール

①郵便番号・住所②氏名③連絡先電話番号（FAXでのお申込みの場合は、FAX番号もお書きください。）を記入し、「読書の旅参加希望」と明記。また、往復はがきで申込みの場合は、返信にも送付先の郵便番号、住所、氏名を必ず記入。

● 来館による申込み / 図書情報館2階貸出返却カウンターで申込み。

◆ お申込みフォーム

http://www.library.pref.nara.jp/event/event_moushikomi.html

◆ お申込み専用アドレス

koen@library.pref.nara.jp

※1通につき、2名までのお申込みとします。（2名お申込みの方は、その旨お書き添えください。）



〒630-8135 奈良市大安寺西1-1000 TEL.0742-34-2111 FAX.0742-34-2777
URL <http://www.library.pref.nara.jp/>

奈良県立図書情報館